

## 令和元年度 森林環境譲与税に関する決算状況一覧

事業区分	事業名	事業費（千円）			当年度基金への積立額（千円）	事業内容	事業実績	税導入の効果（総括）
		(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）				
意向調査	森林整備促進事業	586	586	0		間伐を行った履歴（4～10齢級は10年、11齢級以上は15年以上）を確認できない人工林の所有者を対象として、現在の管理状況や今後についての意向を郵便により調査。	意向調査実施 対象面積：319ha 対象者：142名 回収率：57%	<p>本市は所有面積の小さい森林所有者が多く、世代交代や市外への転出などを機に森林整備の行き届かない森林の増加や森林以外の用途への転用が懸念される状況にあります。</p> <p>今後、森林経営計画の作成を通じて集約化を推進し、地球温暖化や山地災害の防止に貢献する森林整備を進める考えです。</p> <p>このために令和元年度は意向調査を実施し、市内の私有林319haの管理の状況や今後の管理に対する意向を把握できました。</p> <p>新たに森林所有者48人の連絡先の特定につながり、今後の適切な森林整備の推進のための基本情報も収集できました。</p>
基金積立（森林整備等）	森林環境振興基金積立金	13,739	13,737	2	13,739	今後、増大すると予想される「私有林等整備事業」に備えた積み立て		<p>また、令和元年度に実施した意向調査の結果を踏まえて、令和2年度以降、私有林の現地調査・施業提案書の作成、間伐等を支援する新たな補助制度の創設、担い手の通年雇用化の促進、森林の公益的機能への理解促進のための森林環境教育などを実施するため、残額は基金に積み立てました。</p> <p>地域の担い手に、通年で森林施業できる体制が整うに従い、毎年徐々に森林整備量を増大させる考えです。</p>